



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 不二製油株式会社
コード番号 2607 URL <http://www.fujioil.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清水 洋史

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 隈部 博史

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

TEL 06-6459-0701

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	66,191	3.7	2,519	△27.6	2,434	△31.2	1,302	△55.0
27年3月期第1四半期	63,802	8.4	3,480	△1.2	3,540	△0.1	2,893	37.2

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 756百万円 (△68.1%) 27年3月期第1四半期 2,371百万円 (△55.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	15.15	—
27年3月期第1四半期	33.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	259,647	150,422	55.8	1,684.44
27年3月期	223,625	150,813	65.1	1,693.76

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 144,793百万円 27年3月期 145,595百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	139,000	8.5	6,300	△1.9	6,000	△6.3	3,400	△27.4	39.55
通期	300,000	10.3	16,000	12.6	15,600	16.4	10,000	7.2	116.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) FUJI OLEOS AMERICA DO SUL IMPO
RTACAO, SERVICOS E COMERCIO D
E PRODUTOS ALIMENTICIOS E PAR 、除外 1社 (社名)
TICIPACOES LTDA.

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	87,569,383 株	27年3月期	87,569,383 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	1,609,632 株	27年3月期	1,609,599 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	85,959,773 株	27年3月期1Q	85,960,034 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による金融・財政政策の効果を背景にして穏やかな回復基調が続いております。一方、海外では、欧州金融不安、中国や新興国経済の成長鈍化など、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く国内食品業界では、円安による原材料価格の上昇が継続し、依然として厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループはローリング中期経営計画「ルネサンス不二2017」（2015年4月～2018年3月）を策定し、「グローバル経営の推進・加速」「技術経営の推進・加速」「サステナブル経営の推進・加速」を基本方針として、成長戦略、収益構造改革、サプライチェーンの構築により事業体質の強化を図り、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は661億91百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は25億19百万円（前年同期比27.6%減）、経常利益は24億34百万円（前年同期比31.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億2百万円（前年同期比55.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、業務用向け斗缶調合油・フライ油・製菓用油脂などのヤシ油・パーム油・チョコレート用油脂の販売数量は堅調に推移しましたが、販売価格の低下等により、減収・減益となりました。

海外では、原料相場下落に伴い販売価格の低下となりましたが、米州などで販売が伸長したことや、円安による円換算額の増加も寄与し、増収となりました。利益面では欧州での減益等により、海外全体では減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は255億74百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益（営業利益）は9億32百万円（前年同期比21.2%減）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、チョコレートは、スイートチョコ・アイスコーティングチョコなどの販売数量が増加して増収となりました。クリーム・調製品は減収、マーガリン・ショートニング・フィリング類は増収となり、国内の当部門売上高は増収となりました。採算面では、原材料価格が上昇したこともあり、減益となりました。

海外では、チョコレート・クリーム・マーガリン・フィリング類は、全般的に順調に伸長し、増収となりました。利益面では、ブラジルの連結子会社ハラルド社の株式取得関連費用の計上を行ったこと等により、減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は304億31百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益（営業利益）は13億75百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、水産・発酵培地用途が減少しましたが、健康食品・惣菜・加工食品用途で伸長し増収となりました。大豆たん白機能剤は、飲料用途が伸長し増収となりました。大豆たん白食品は、即席麺・給食・水産市場向けが減収となりました。豆乳は、豆乳飲料など順調に推移し増収となりました。これにより当部門全体は増収となりました。利益面では、販売の伸長による利益増加を、原材料価格上昇による影響が上回ったことにより減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は101億86百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益（営業利益）は2億11百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ360億22百万円増加し、2,596億47百万円となりました。

主な資産の変動は、たな卸資産の増加18億52百万円、有形固定資産の増加38億84百万円、のれんの増加226億86百万円等であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、ブラジルの連結子会社ハラルド社の株式取得に伴う借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ304億59百万円増加し、600億26百万円となりました。

主な純資産の変動は、その他有価証券評価差額金の増加5億40百万円、為替換算調整勘定の減少10億99百万円であります。

この結果、自己資本比率は55.8%、1株当たり純資産は1,684円44銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ4億60百万円増加、前第1四半期連結累計期間末に比べ5億92百万円減少し、131億76百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で18億25百万円減少し、10億50百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益23億69百万円、減価償却費22億31百万円、売上債権の減少額23億81百万円等による収入が、仕入債務の減少額49億76百万円、たな卸資産の増加額7億64百万円、法人税等の支払額9億25百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で225億85百万円支出が増加し、245億25百万円の支出となりました。これは主に、ブラジルの連結子会社ハラルド社等の子会社株式の取得による支出173億55百万円、預け金の預入による支出47億19百万円、有形固定資産の取得による支出21億78百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で255億49百万円増加し、240億15百万円の収入となりました。これは主に、ブラジルの連結子会社ハラルド社の株式取得等の為に調達した短期借入金による資金調達額の純増加額278億76百万円等の収入が、コマーシャル・ペーパーの純減少額20億円、配当金の支払額14億61百万円による支出等を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

FUJI ÓLEOS AMÉRICA DO SUL IMPORTAÇÃO, SERVIÇOS E COMÉRCIO DE PRODUTOS ALIMENTÍCIOS E PARTICIPAÇÕES LTDA. は、当社グループにおける重要性が増したため当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。

また、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。

加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用若しくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

また、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しについては、企業結合会計基準第58-2項(1)なお書き、四半期財務諸表に関する会計基準第28-13項及び同適用指針第81-7項に定める経過的な扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合から適用しております。

なお、四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結財務諸表等におけるキャッシュ・フロー計算書の作成に関する実務指針第26-4項に定める経過的な取扱いに従っており、比較情報の組替えは行っておりません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は402百万円減少しております。

また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が21百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,789	13,218
受取手形及び売掛金	54,565	54,472
商品及び製品	21,868	23,225
原材料及び貯蔵品	23,290	23,786
繰延税金資産	1,186	1,538
その他	4,948	7,190
貸倒引当金	△92	△299
流動資産合計	118,556	123,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,820	29,868
機械装置及び運搬具（純額）	30,284	34,238
土地	15,987	16,102
建設仮勘定	5,350	3,793
その他（純額）	1,402	1,726
有形固定資産合計	81,845	85,729
無形固定資産		
のれん	-	22,686
その他	1,311	1,346
無形固定資産合計	1,311	24,032
投資その他の資産		
投資有価証券	17,283	18,002
退職給付に係る資産	1,074	1,270
繰延税金資産	414	451
その他	3,333	7,320
貸倒引当金	△193	△292
投資その他の資産合計	21,912	26,752
固定資産合計	105,069	136,515
資産合計	223,625	259,647

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,914	21,588
短期借入金	14,712	45,070
コマーシャル・ペーパー	2,000	-
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	1,469	1,687
賞与引当金	2,009	2,827
役員賞与引当金	58	-
その他	8,738	11,434
流動負債合計	57,902	87,608
固定負債		
長期借入金	7,855	9,956
繰延税金負債	4,767	5,028
役員退職慰労引当金	32	32
退職給付に係る負債	1,668	1,785
その他	585	4,813
固定負債合計	14,909	21,616
負債合計	72,812	109,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,302
利益剰余金	103,467	103,297
自己株式	△1,747	△1,747
株主資本合計	133,253	133,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,728	7,268
繰延ヘッジ損益	479	364
為替換算調整勘定	5,716	4,617
退職給付に係る調整累計額	△583	△519
その他の包括利益累計額合計	12,341	11,731
非支配株主持分	5,218	5,628
純資産合計	150,813	150,422
負債純資産合計	223,625	259,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	63,802	66,191
売上原価	52,284	54,138
売上総利益	11,517	12,052
販売費及び一般管理費	8,036	9,533
営業利益	3,480	2,519
営業外収益		
受取配当金	108	114
為替差益	115	-
デリバティブ評価益	-	124
その他	153	121
営業外収益合計	376	359
営業外費用		
支払利息	85	83
持分法による投資損失	102	199
その他	128	160
営業外費用合計	317	444
経常利益	3,540	2,434
特別利益		
受取保険金	230	-
関係会社出資金売却益	37	-
特別利益合計	267	-
特別損失		
固定資産処分損	10	64
特別損失合計	10	64
税金等調整前四半期純利益	3,797	2,369
法人税、住民税及び事業税	976	1,192
法人税等調整額	△231	△242
法人税等合計	745	950
四半期純利益	3,051	1,419
非支配株主に帰属する四半期純利益	157	116
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,893	1,302

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	3,051	1,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	532	539
繰延ヘッジ損益	△148	△114
為替換算調整勘定	△1,096	△1,129
退職給付に係る調整額	57	63
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	△22
その他の包括利益合計	△680	△663
四半期包括利益	2,371	756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,356	692
非支配株主に係る四半期包括利益	14	63

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,797	2,369
減価償却費	2,022	2,231
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△157	△196
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	107	268
受取利息及び受取配当金	△129	△142
支払利息	85	83
関係会社出資金売却損益 (△は益)	△37	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△609	2,381
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,904	△764
仕入債務の増減額 (△は減少)	565	△4,976
その他	621	664
小計	4,362	1,918
利息及び配当金の受取額	129	127
利息の支払額	△68	△69
法人税等の支払額	△1,778	△925
保険金の受取額	230	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,875	1,050
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,264	△2,178
関連会社株式取得による支出	△535	-
非連結子会社株式取得による支出	△57	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△17,355
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による支出	△42	-
預け金の預入による支出	-	△4,719
その他	△39	△272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,940	△24,525
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150	27,876
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	-	△2,000
長期借入れによる収入	-	600
長期借入金の返済による支出	△36	△756
配当金の支払額	△1,117	△1,461
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△83
その他	△229	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,534	24,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△211	△102
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△810	436
現金及び現金同等物の期首残高	14,578	12,716
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	23
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,768	13,176

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,860	29,178	9,763	63,802	—	63,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,407	82	149	3,638	△3,638	—
計	28,267	29,260	9,912	67,440	△3,638	63,802
セグメント利益	1,183	2,077	220	3,480	—	3,480

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	41,420	12,866	4,837	4,677	63,802	—	63,802
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	7,739	150	17	7,922	△7,922	—
計	41,434	20,606	4,988	4,694	71,724	△7,922	63,802
セグメント利益又は損失(△)	2,128	709	138	445	3,422	58	3,480

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ

米州：米国

欧州：ベルギー

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,574	30,431	10,186	66,191	—	66,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,167	458	369	12,994	△12,994	—
計	37,741	30,889	10,555	79,186	△12,994	66,191
セグメント利益	932	1,375	211	2,519	—	2,519

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	42,458	12,911	6,099	4,722	66,191	—	66,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	131	7,110	205	43	7,492	△7,492	—
計	42,590	20,022	6,305	4,765	73,683	△7,492	66,191
セグメント利益	1,808	1,075	△349	336	2,871	△352	2,519

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、
インドネシア、タイ
米州：米国、ブラジル
欧州：ベルギー

2016年3月期 第1四半期 決算補足資料

二つとない、をつくる。



1

目次

1. 連結 第1四半期業績
 - (1) 連結 損益概要
 - (2) 連結 油脂部門損益
 - (3) 連結 製菓・製パン素材部門損益
 - (4) 連結 大豆たん白部門損益
 - (5) 連結 地域別損益
 - (6) 連結 貸借対照表
 - (7) 連結 キャッシュ・フロー
 - (8) 連結 指標
2. 第2四半期業績予想及び通期業績予想
3. 単体 第1四半期業績

※1：本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。

※2：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

1-(1) 連結 損益概要

(単位: 億円)

	14年度 Q1	15年度 Q1	対前期		
			増減額	増減率	
売上高	油脂	249	256	+7	+2.9%
	製菓・製パン素材	292	304	+13	+4.3%
	大豆たん白	98	102	+4	+4.3%
	合計	638	662	+24	+3.7%
営業利益	油脂	12	9	▲3	▲21.2%
	製菓・製パン素材	21	14	▲7	▲33.8%
	大豆たん白	2	2	▲0	▲4.1%
	合計	35	25	▲10	▲27.6%
営業利益率	5.5%	3.8%	▲1.7p	—	
経常利益	35	24	▲11	▲31.2%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	29	13	▲16	▲55.0%	
四半期包括利益	24	8	▲16	▲68.1%	

3

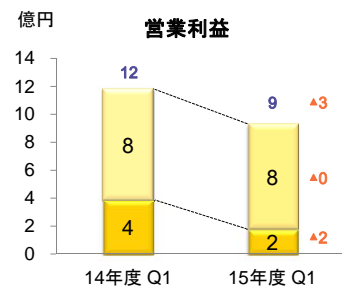
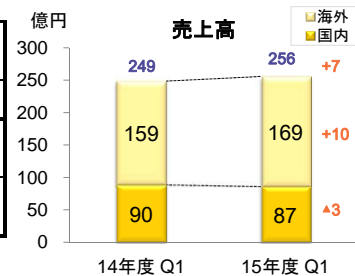
1-(2) 連結 油脂部門損益

(億円)

	14年度 Q1	15年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	249	256	+7	+2.9%
営業利益	12	9	▲3	▲21.2%

業績サマリー

- **国内**
ヤシ油・パーム油・チョコレート用油脂の販売数量は堅調に推移するも、販売価格の低下等により減収・減益。
- **海外**
米州などの販売が伸長したことや、円安による円換算額の増加も寄与し増収となるも、利益面では欧州での減益等により減益。



4

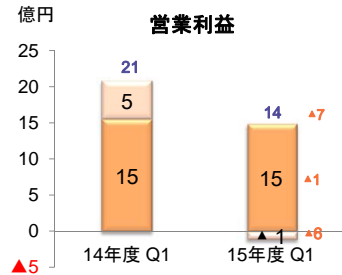
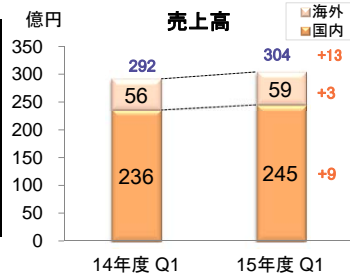
1-(3) 連結 製菓・製パン部門損益

(億円)

	14年度 Q1	15年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	292	304	+13	+4.3%
営業利益	21	14	▲7	▲33.8%

業績サマリー

- **国内**
チョコレート関連は販売数量が増加し増収、マーガリン・ショートニング・フィリング類も増収で全体では増収。採算面では原料価格が上昇し減益。
- **海外**
チョコレート・クリーム・マーガリン・ショートニング・フィリング類は販売が順調に伸長し増収。利益面ではブラジルの連結子会社ハラルド社の株式取得関連費用の計上を行ったこと等により減益。



5

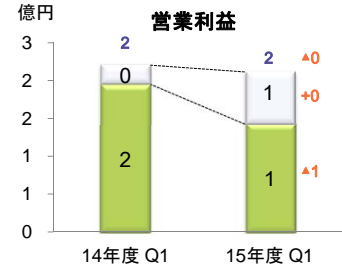
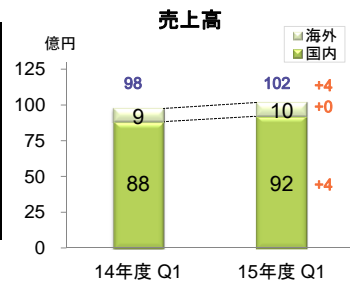
1-(4) 連結 大豆たん白部門損益

(億円)

	14年度 Q1	15年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	98	102	+4	+4.3%
営業利益	2	2	▲0	▲4.1%

業績サマリー

- **大豆たん白素材**
水産・発酵培地用途が減少するも、健康食品・惣菜・加工食品用途が伸長し増収。
- **大豆たん白機能剤**
飲料用途が伸長し増収。
- **豆乳**
豆乳飲料などが順調に推移し増収。
- **部門全体**
利益面は、販売の伸長による利益増加を上回る原材料価格上昇の影響を受けて減益。



6

1-(5) 連結 地域別損益

(単位:億円)

		14年度 Q1	15年度 Q1	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	414	425	+10	+2.5%
	アジア	129	129	+0	+0.3%
	欧米	95	108	+13	+13.7%
	合計	638	662	+24	+3.7%
営業利益	日本	21	18	▲3	▲15.0%
	アジア	7	11	+4	+51.5%
	欧米	6	▲0	▲6	—
	消去	+1	▲4	▲4	—
	合計	35	25	▲10	▲27.6%

日 本:円安による原料価格上昇、大豆たん白素材の原料高等により減益。

アジア:チョコレート用油脂・クリーム・マーガリンの販売が増加し増益。

欧 米:チョコレート用油脂の販売が伸長するも、ハラルド取得関連費用計上等により減益。

7

1-(6) 連結 貸借対照表

(単位:億円)

	14年度 期末	15年度 Q1末	対前期末	主な増減要因
流動資産	1,186	1,231	+46	ハラルド新規連結による資産取込等。
固定資産	1,051	1,365	+314	ハラルド新規連結によるのれんの計上及び資産取込等。
資産合計	2,236	2,596	+360	
有利子負債	296	600	+305	ハラルド取得による借入金の増加等。
その他負債	432	492	+60	
負債合計	728	1,092	+364	
純資産合計	1,508	1,504	▲4	その他有価証券評価差額金の増加、為替換算調整勘定の減少等。

8

1-(7) 連結 キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	14年度 Q1	15年度 Q1	対前期
税引前四半期純利益	38	24	▲14
減価償却費	20	22	+2
他増減	▲29	▲36	▲6
営業キャッシュ・フロー	29	11	▲18
投資キャッシュ・フロー	▲19	▲245	▲226
フリー・キャッシュ・フロー	9	▲235	▲244
借入金等による調達・返済	▲2	257	+259
配当支払・自己株取得等	▲13	▲17	▲4
財務キャッシュ・フロー	▲15	240	+255
現金及び現金同等物増減(換算差額含む)	▲8	4	+12
新規連結に伴う増減	—	0	+0
現金及び現金同等物残高	138	132	▲6

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

9

1-(8) 連結 指標

(単位:億円)

	12通期	13Q1	13通期	14Q1	14通期	15Q1
設備投資額	65	15	61	15	112	26
減価償却費	81	20	83	19	82	21
有利子負債	370	377	289	285	296	600
純資産(少持除く)	1,154	1,190	1,281	1,309	1,456	1,448
1株当たり純資産	1,342円	1,384円	1,490円	1,522円	1,694円	1,684円
総資産	1,971	2,018	2,022	2,046	2,236	2,596
自己資本比率	58.5%	59.0%	63.3%	63.9%	65.1%	55.8%
D/Eレシオ	0.32	0.32	0.23	0.22	0.20	0.41
ROE	7.6%	7.2%	6.7%	8.9%	6.8%	3.6%
ROA	7.3%	7.1%	7.4%	7.0%	6.3%	4.0%

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。

・純資産は少数株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/Eレシオ=有利子負債÷純資産(少数株主持分除く)

・ROE=当期純利益÷純資産(Q1指標は、年換算しています。)

・ROA=経常利益÷総資産(Q1指標は、年換算しています。)

10

2 第2四半期業績予想及び通期業績予想

【連結業績予想】

(単位:億円)

	第2四半期累計			通 期		
	前 期	当 期	増 減	前 期	当 期	増 減
売上高	1,281	1,390	+109	2,719	3,000	+281
営業利益	64	63	▲1	142	160	+18
経常利益	64	60	▲4	134	156	+22
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	47	34	▲13	93	100	+7

【単体業績予想】

(単位:億円)

	第2四半期累計			通 期		
	前 期	当 期	増 減	前 期	当 期	増 減
売上高	694	707	+13	1,483	1,549	+66
営業利益	35	33	▲2	86	94	+8
経常利益	36	37	+1	89	103	+14
四半期(当期)純利益	28	23	▲5	57	69	+12

(注) 2015年5月8日発表の第2四半期(累計)業績予想並びに、通期業績予想は変更していません。

11

3 単体 第1四半期業績

(単位:億円)

	14年度 Q1	15年度 Q1	対前年同期	
			増減額	増減率
売上高	344	351	+7	+2.1%
営業利益	19	15	▲4	▲21.1%
経常利益	20	20	+0	+0.5%
四半期純利益	18	15	▲3	▲15.4%

12